

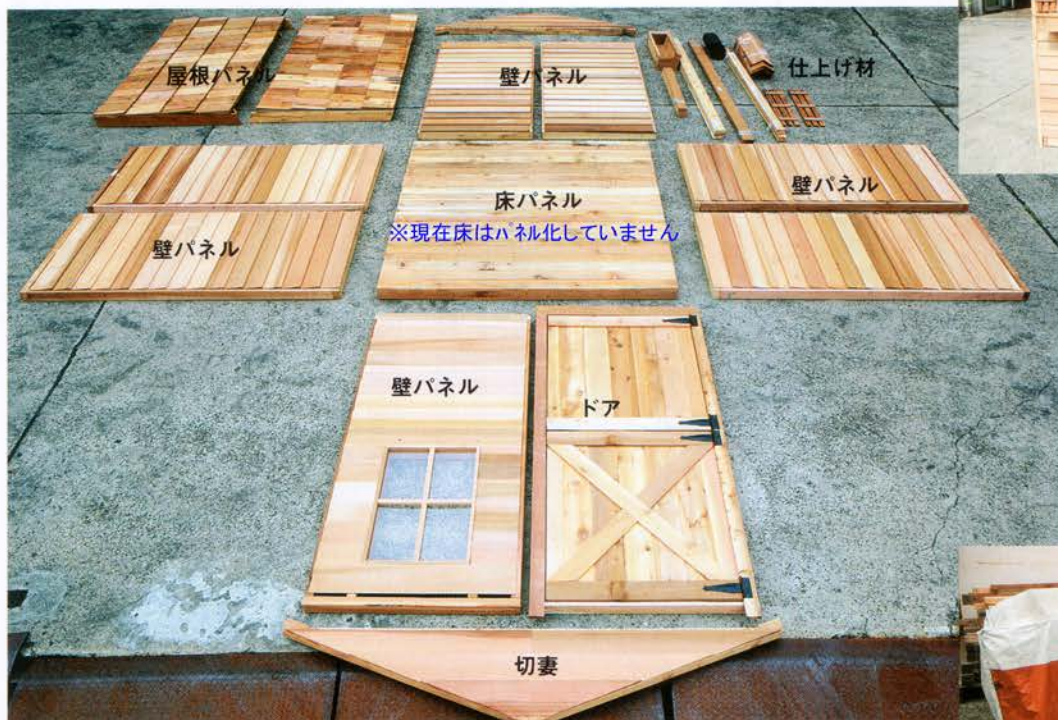
建築例1

1日で組み立てられるお手軽キット

ジェイスタイル / ガーデナー6×6

キットの内容

キットを広げるとこんな感じ。キットには、床、壁、屋根の各部材や、ドア、ビスなどの金物類、そして化粧用の仕上げ材や、窓の下に取り付けるブランターまでが含まれている。とりあえず建てるだけなら、ほかに必要なものは基礎の材料くらい。あとは塗装を施せば完璧だ。材には、独特の赤みがかった色合いで、水や湿気に強い樹種であるウエスタン・レッドシーダーを使用している



使い方もいろいろ。 パネル式の簡単キット

今回は、広さ1坪ほどのガーデナー6×6という商品の建築にチャレンジ！ パネル状の部材を組み合わせるだけで、作業は実に簡単。ブロックや束石を使う基礎なら、2~3人で1日作業すれば十分完成させられる。DIY初心者にもおすすめのキットだ



必要な道具

道具は大げさなものはないが、ビスをスピーディに打てるインパクト・ドライバーはぜひ欲しい。屋根作業もあるので、脚立も必要だ。このキットには、ビスと釘も付属している

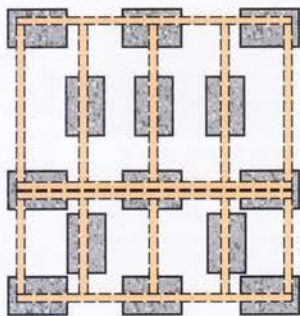


パッケージされたキットは こんな状態で届けられる

キットはコンパクトにパッケージされた状態で届けられる(写真上)。カバーをとると、各部材がまとまって薄い金属のバンドで結束されているので、ニッパーなどでカット。マニュアルも入っているので、まずはキット内容の不足がないかをチェックしよう

基礎づくりについて

ブロック基礎が簡単でおすすめです！



水平器を使い、基礎同士の水平を確認しながらブロックなどを配置する

基礎にもいろいろあるが、これくらいの小さなキットハウスならブロックや束石を使った簡単な独立基礎で十分だ。ただし、水平はきっちりしないと、床が傾いたり小屋全体が歪んでしまうので注意。基礎の下の地面を少しずつ削りながら、水平器を使って平行を確認するようにしよう。今回のガーデナー6×6の場合、基礎は上のイラストのように、四隅やパネルの継ぎ目、根太部分など、14個の基礎を置くことが推奨されている



材を重ね合わせてパッケージを小さくするために付いていなかった板材を2枚の床パネルにビス留め



2枚の床パネルをビス留め。床面に段差ができないように高さをそろえ、等間隔で4カ所留める



これで床面は完成。あとはひっくり返して床面を表にする。ひとりでも簡単に裏返せる軽さだ



最初に床面をつくる
今回は基礎部分は省略して床面づくりから開始。基礎については、本ページ左の記事を参考にしてほしい。床面は2枚のパネルを結合させるだけで完成だ

POINT

2枚の床パネルの高さは余った板を入れてそろえる



2枚のパネルを結合させるときには、高さをそろえて段差ができないように。薄い板などをパネルの下に入れて高さを合わせてからビス留めするといひ

STEP 1
床面づくり

※現在、床はパネル化していません。



AM10:00
作業
スタート！



ビス打ちのときにパネルがズレないように、もうひとりがパネルを押しえてサポートしてあげよう



1枚目のパネルと角を合わせて2枚目のパネルをビス留め。等間隔で4カ所にビスを打って固定する



壁パネルにヘッダーといわれる材を取り付ける。このときビスは間柱に打つようにする



パネルが軽いので作業はとても簡単。このようにひとりでもしっかりと持ち運ぶことができるのだ



立てた2枚目の壁パネルを床パネルにビス留めする。床パネルの外側と壁パネルの面を合わせる



残りの壁パネルにもヘッダーを取り付ける。あとはこれを床パネルの上に立てていくのだ



窓付きのパネルを立ち上げて、最後にドアの枠を取り付ければ、ひとまず壁づくりは終了だ



間柱と間柱の真ん中くらいの位置にビスを打って、床パネルに壁パネルを固定していく



壁パネルを立てて、床パネル2カ所にビス留め。床パネルの辺や角としっかり面を合わせよう



壁もパネルを組むだけで！
次は壁づくり。今回は壁パネルを1枚ずつ立ち上げたが、2枚のパネルをつなげて各壁面を完成させてから立ち上げてもOK。最後にドア枠を取り付ける

POINT

少しのズレでも後々問題に。パネルとパネルはズレないように



パネルとパネルの面をきっちり合わせる。これはずれていけると、全体が傾いたり、屋根がうまく納まらなかったりする

STEP 2
壁の立ち上げ



AM10:30
あつという間に
次の工程に

STEP 3 ドアの取り付け



AM11:45
壁面が立ち上がった



上下分割式のドアを付ける
このキットには、上下2枚に分かれるユニークなドアが付属。前の工程で設置したドア枠、丁番を使ってこれを固定する

POINT
ドアの下に薄い板を入れてすき間をつくと◎



スムーズなドア開閉のために、ドア下側にスペースを設けること。ビス留め時に薄い板をドアの下に入れて作業しやすい



1 付属している丁番類。デザインがおしゃれだ。ドアが上下分割式なので、丁番が4枚必要になる



2 最初にドアに丁番を取り付ける。写真のように、ドアの片側4カ所にビスで留める



3 ビスは1本ずつ締め付けるのではなく、最初にすべてのビス穴を仮留めしてから本締めする



4 すべてのビスを仮留めしてみて、丁番の曲がりやズレがないか確認。大丈夫なら本締めする



5 下のドアをドア枠に取り付ける。POINTで解説したように、ドアの下に薄い板を入れて作業する



6 上下2枚の丁番を留めれば下のドアの設置は完了。スムーズに開閉できるか確認してみよう



7 次に上のドアだ。ドア枠へのビス留めも、仮留めして位置を確認してから本締めする



8 上下のドアが設置できたら、2枚のドアを固定して1枚ドアにする留め具を付ける



9 ビスを穴の中央にあて、ハンマーで軽く叩いてからドライバーで締めるときれいに納まる

STEP 4 屋根を掛ける



PM12:30
小屋の形はほぼ完成!



シングル張りの屋根を設置
作業を始めてから2時間半ほどでもう屋根作業までこぎ着けた。屋根もパネルなので、小屋の上に乗せて固定するだけと簡単!

POINT
屋根のパネルは少し重め最低ふたりで持ち上げよう



これまでのパネルと比較すると、屋根のパネルはやや重め。作業中に落としたりして、ケガや破損がないようにしましょう



1 壁パネル同士をより強固に結束するために、トッププレートという材を壁の各辺に渡して固定



2 トッププレートは壁パネルと面を合わせる。これが不正確だと、屋根がうまく納まらないこともある



3 妻壁を設置する。妻壁も軽量なパネルに加工されているので、壁の上を持ち上げて固定すればOKだ



4 妻壁をトッププレートにビス留め。妻壁パネルには、納まりがいいように欠き込みが設けてある



5 数人で屋根パネルを持ち上げて妻壁パネルに載せる。あとはズズリと押し上げていく



6 屋根パネルの材にも欠き込みがあるので、これがびったり納まるところまで押し上げる



7 風などで屋根が落ちてしまわないように、トッププレートと屋根をビス留めして固定する



8 同様に、妻壁のパネルにもビス留め。ここでは2枚の屋根パネルの間にすき間があってもかまわない



9 2枚の屋根パネルの間に補強用の添え板を渡してビスで固定する。これで構造体は完成だ



7
1枚目の端から20cmずらして2枚目を置き、1枚目と同様に端から30cmの位置に釘を打つ



4
棟の端から端まで全部が覆われるように、2枚のルーフィングフェルトをかぶせ、釘で留める



1
これがルーフィングフェルト。防水性の紙で、このようにくるくると丸まって入っている



8
以下も同じように、20cmずつずらしながらリッジキャップを重ね張りしていく



5
これがリッジキャップという部材。徐々に板厚が増す板が、くの字型に組み合わせられている



2
ルーフィングフェルトを2分割する。まず、ルーフィングフェルトを広げてふたつ折りに



9
釘はリッジキャップ1枚につき左右2カ所に打つ。飛び出した部分は最後にノコギリでカット



6
1枚目のリッジキャップは、厚みがある方を妻壁側にし、端から30cmほどの位置に釘を打つ



3
ついた折り目をはさみやカッターでカット。これで細長いルーフィングフェルトが2枚できる



ルーフィング作業をする
棟部分をルーフィングフェルト(防水紙)で覆い、ウエスタン・レッドシーダー製のリッジキャップという部材をかぶせる。これで屋根仕上げは終了だ

POINT
高所作業は要注意！
油断して落ちないように



この作業は、脚立や屋根の上での作業になる。最高でも2.5mほどの高さだが、落ちればケガをする可能性もある。慎重な作業を心がけよう



PM1:00
いよいよ
仕上げ作業
に突入！



7
化粧材の最後は床パネルの側面に張る巾木。パールなどで少し下にすき間をあけて固定すると美しい



4
トリム材を壁パネルの継ぎ目に張る。きつかったら当て木をしてハンマーで軽く叩いて入れる



1
軒天、鼻隠し、トリム、巾木といった化粧材。これらを頭の見えにくい化粧釘で張っていく



8
ドアの取っ手金具や木製ブラケット、窓の横の飾り雨戸をビスで固定。これでおおよそ作業は終了だ



5
四隅のパネルの継ぎ目にも化粧材を張っていく。これで見た目高級感が出てきた



2
最初は軒天を仕上げる。細長く薄い板を、妻壁パネルや垂木に化粧釘で打ちつければOK



9
ハンマーの音も高らかに、棟に飾り板を打ちつけて終了。かかった時間は5時間ほどだった



6
妻壁のパネルと垂木の木口を隠す化粧板、鼻隠しを取り付ける。これは木口に釘を打って張る



3
軒天を張ってから、屋根と壁の継ぎ目を隠す化粧材を釘打ちする。釘は間柱に打つようにする



作業はいよいよ最終段階
ここまでの作業にかかった時間は4時間ほど。次はパネルの継ぎ目などが見えないように化粧材を張り、最終仕上げを施す

POINT
仕上げ材には裏表がある
表側にザラザラの面を出すこと



化粧材は、ザラザラした面を外側に向けて張る。これは塗装したときに、ザラザラの面のほうが塗料が染み込みやすいからだ



PM2:00
あと少しで
完成だ

STEP 5 屋根の仕上げ

STEP 6 壁仕上げ



ウエスタン・レッドシーダー材をたっぷり使ったキットハウスが出来上がりだ。屋根もウエスタン・レッドシーダーのシングル張りで、ただの物置として使うにはもったいないくらいの高級感。工夫次第で楽しみ方がもっと広がりそうだ

STEP 7
完成!



PM3:00
およそ
5時間で
組み立て
完了!

**今回建てたキットハウス「ガーデナー6×6」を
抽選で1名様にプレゼント!**

現在は終了しています。

ご了承のうえご応募ください。

<http://www.jstyle.co.jp/>